

三納中学校

土地面積 19,866 m²

建物基本情報						躯体の健全性			劣化状況評価					
建物名	構造	階数	延床面積 (m ²)	建築年度	築年数	耐震安全性			屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
						基準	診断	補強						
校舎1	RC	3	1,765	S40	60	旧	済	-	-	-	-	-	-	-
校舎2	RC	2	556	S58	42	新	-	-	B	B	B	B	B	75
体育館	S	1	685	S59	41	新	-	-	B	B	B	B	B	75

※令和2年3月策定「西都市学校施設等長寿命化計画」より

(備考)

- ・校舎1は解体が必要
- ・校舎2は耐震補強が必要
- ・避難所（体育館のみ地震・洪水・土砂災害）
- ・敷地内に相当数の民地あり



●三納中学校に係る修繕・工事費用（令和元年～）

R6	三納旧中学校	プール、ポンプ電源電柱倒壊撤去工事	99,000
R元	三納中学校	排水水中ポンプ取替修繕	222,480
R元	三納中学校	屋内運動場 屋根塗装ほか工事	6,028,000
		ほか4件	
		合計	6,516,460

●解体費試算（令和7年3月作成「都市再生整備計画」より）

【三納中】

		面積	単価	解体費	建築年度
校舎1	管理教室棟	966	30,000	28,980,000	S39
	管理教室棟	799	30,000	23,970,000	S40
校舎2	特別教室棟	556	30,000	16,680,000	S57
体育館		685	50,000	34,250,000	S58
機械室		53	30,000	1,590,000	S39,S60
部室		110	50,000	5,500,000	S51
プール				10,000,000	
合計				120,970,000	

●施設の解体に係る補助等

・都市構造再編集中支援事業

国費率 50%（ただし、自治体での限度額あり）

※令和11年度までに完了する除却費用が対象

・公共施設等適正管理推進事業債

充当率 90%

元利償還金に対する交付税措置率 30～50%

※市としての負担は、全体の30%程度になる見込み

●市としての活用の可能性

災害に対する備蓄倉庫

埋蔵文化財の保管施設

企業等への売却

※現時点での具体的な活用方法は決まっていない。